

豆一俵物語 ～反一俵の大豆の増収で会津を元気にしよう～



だいでず通信 第2号 (通算59号)

(令和4年6月13日)

会津若松市・磐梯町・猪苗代町・JA会津よつば(あいづ地区)
福島県会津農林事務所農業振興普及部・福島県農業共済組合会津支所
全農福島県本部

国産大豆の需要が高まっています。大豆生産を拡大しましょう！

★今後の栽培管理のポイント★

- 1 中耕・培土をタイミング良く行いましょう！
- 2 排水対策の徹底に努めましょう！
- 3 除草剤散布と中耕・培土を組み合わせた体系防除で、雑草を上手に抑えましょう！

1 中耕・培土の実施

中耕・培土は、安定多収を実現するために重要な作業です。

基本的に2回、大豆の生育に応じて行いましょう。(①大豆2～3葉期、②大豆5～6葉期)

中耕・培土の効果

- ① 培土部分からの不定根の発生を促進し、養水分の吸収が向上します。
- ② 不定根に着生する根粒菌の窒素固定が期待できます。
- ③ 株元に土が寄せられ、倒伏防止効果が期待できます。
- ④ 土壌の通気性が改善され、根粒菌や根の発育が良くなります。
- ⑤ 土壌をかくはんし、雑草の発生を抑えます。

作業は梅雨時期にあたります。
タイミングよく行いましょう！

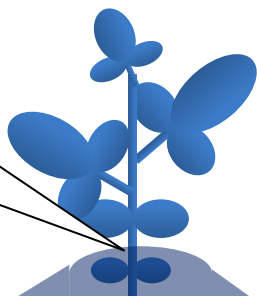


中耕・培土の時期と方法

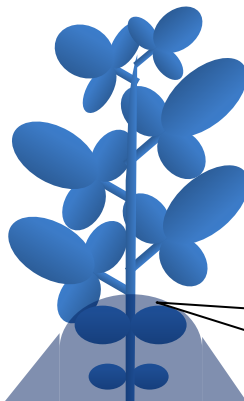
- ・遅くとも開花期の10日前までには終わらせるようにしましょう。
(中耕・培土が遅くなると、根や茎、葉が傷つけられ生育が進まなくなります。)
- ・不定根の発生促進や倒伏を防止するため、土を株元にしっかりと寄せます。(くぼみができないよう！)



1回目
子葉節が隠れる高さ
まで



本葉2～3葉期頃



2回目
初生葉が隠れる高さ
まで

本葉5～6葉期頃

2 生育中の排水対策

大豆は湿害に弱い作物です。引き続き、排水対策をしっかり行いましょう。

- ・ 出芽から生育初期の湿害が、その後の生育や収量に大きく影響します。排水状況を確認しましょう。
- ・ 降雨の前後に排水溝や明きよを点検し、排水が滞らないようにしましょう。
- ・ 水が溜まったところは、溝を切り明きよにつなげ、排水を促進しましょう。

湿害により葉の黄化や生育不良が見られた場合

→速やかに硫安や尿素を追肥すると、生育回復に効果があります。

例；10aあたり) 硫安：5～10kg、または尿素：2～5kg



3 雑草対策

土壌処理剤を使用しても徐々に効果が弱まり、1ヶ月程度で雑草が発生します。

雑草の発生量や種類に応じ、対策を講じましょう。

- ・ ほ場に発生している雑草の種類や除草剤の使用基準（収穫前日数、雑草生育ステージ、大豆生育ステージ等）をよく確認して、適切な茎葉処理剤（全面処理、畦間、株間処理）を適期散布しましょう。
- ・ 大豆の生育が進むと、雑草に薬液が付着しにくくなります。また散布時期が遅くなると雑草の成長が進み、除草効果が低下してしまいます。大豆2～3葉期頃の処理を目安とし、処理が遅れないよう注意しましょう。

茎葉処理剤の例) 一年生イネ科雑草対象 ※ : ポルトフロアブル、 ナブ乳剤
一年生雑草(イネ科を除く)対象 : 大豆バサグラン液剤 (ナトリウム塩)
一年生広葉雑草対象 : アタックショット乳剤

※(スズメカサネを除く)

★農薬危害防止運動実施中です！！（6/10～9/10）

農薬は周りに配慮し、正しく使用しましょう。非選択性薬剤を使用する際は、吊り下げノズルを使用するなどして、大豆に飛散しないように注意してください。

帰化アサガオ類に注意！

帰化アサガオ類は発生期間が長く、出芽して2～4週間でつるを伸ばします。つるになると防除が難しくなるので、つるになる前に、除草剤の散布や中耕培土により防除することが重要です。



マルバルコ



アメリカアサガオ

！！農作業中の熱中症に注意しましょう！！

これから本格的な夏季を迎えます。作業前・作業中はこまめな水分補給や休憩をとりましょう。

日々の体調管理に一段と気をつけましょう。